

電磁応用

第59号 2001年8月

川原田理事長ご逝去

7月22日午後2時42分、川原田安夫理事長は東海大学医学部附属東京病院にて逝去されました。

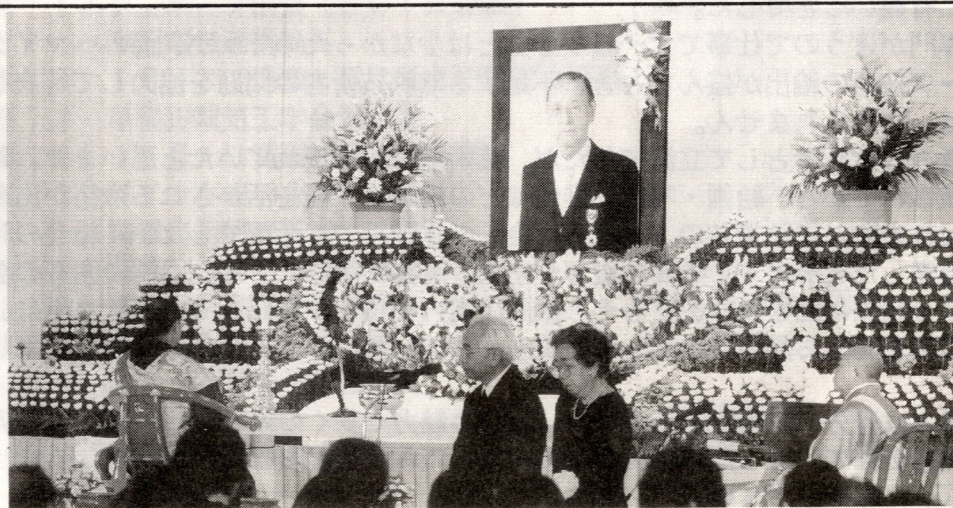
葬儀は川原田家と財団法人電磁応用研究所との合同葬として、下記により執り行われました。

記

通夜	7月25日(水)午後6時～7時
葬儀・告別式	7月26日(木)午前10時30分～12時
式場	青山葬儀所
葬儀委員長	富永英義氏

葬儀は五百人を超える多数の方々のご参加を頂き、しめやかな中にも盛大に行われ、故人の人徳を偲ばせる雰囲気になりました。

皆様に対しここに深くお礼申し上げる次第です。葬儀にあたり頂いた弔辞の大意を掲げてお礼の言葉に代えさせていただきます。



弔辞

島崎 弘 氏 (財)電磁応用研究所評議員(株)ホテル雲井社長

余りにも早いお別れにただただ驚愕しております。早稲田で君と一緒に政太郎先生のご長男ということで、恐れをなしながら付き合っておりましたが、何時しか、気心が知れ何でも話しあえる間柄になりました。戦時中、学徒動員で寝食を共にし、特に親交が深まったと思っております。

その後、君は海軍に行き終戦後電電公社に進み、私はKDDに勤める関係から、親交が続いたのであります。

君は電電公社を辞められてからお父上、政太郎さんの電磁応用研究所を継がれることになり、私に評議員の席を用意して下さいました。君が電磁応用研究所をより完全なものに育てられた功績は実に偉大なものだと思います。

また、お父上の功績を描いたNHKの連続ドラマ「凜々と」の作成にご尽力され立派な親孝行をなさったことも、忘れられない思い出です。

私は最近ラジオで立派な処世訓を学びました。「逆らわず 常にニコニコ 従わず」君はこれを地でいった様な見事な生き様でした。特に、従わずの部分については、その都度相談を受け、その処置の見事さには感動していました。君は何時しかよろず相談所の中心的存在に祭り上げられ、皆から慕われることになりました。

君に先立たれ、今、私は悲しみのどん底に沈んでおります。何時の日か天国で再会することを願いつつ送る言葉と致します。

ご冥福をお祈りいたします。

清水 通隆 氏 元電電公社理事・元(株)高見沢電機製作所社長

川原田君、君の突然の訃報には全く驚いたとしか言いようがありません。ついこの間まで一緒に暮を打ち、楽しく語りあっていたのに、不思議でなりません。

電々公社在職中、社宅生活が一緒に事が多く、家族ぐるみの親交を頂いたことは誠に有難いことでした。

専門が違うので仕事で一緒することは少なかったのですが、海外へマイクロウェーブ技術の輸出が盛んなとき、不足する無線技術者の問題を協力して解決したことは、忘れられません。

貴方は技術者として立派でしたが、芸術面の才も優れていたと思います。電電を退職されてから、絵画・写真・俳句などの趣味に才能を活かされる余裕が出来たと思われます。史跡探訪の「まほろば会」の世話役でご活躍でしたが、総会の時貴方が用意したビデオで1年間の復習が出来、有難い限りでした。同期の囲碁の会も発足させ順調に回を重ね、そろそろ次回の案内を頂くかと思っておりました所に、ご病気の話を聞きお見舞いに伺ったのが19日でした。そして23日に訃報に接しました。

貴方は自分を主張することなく、貴方の魅力で多くの人を楽しませる導く才能に恵まれていました。今後を楽しみにしておりましたのに、残念でなりません。安らかに休息下さい。

川原田 安夫氏 略歴

年	履 歴	社会情勢
1920	8月30日政太郎・菅子の長男として 日暮里にて出生	政太郎先生OYK同期 電動機発明
1927	小石川区関口台町尋常小学校入学	上野-浅草間地下鉄開通
1939	第一早稲田高等学院理科入学	川原田家世田谷区経堂へ
1942	早稲田大学理工学部電気通信学科入学	
1944	早稲田大学繰上げ卒業・通信省入省	
1945	海軍技術中尉（浜名海兵団） 8月15日終戦に伴い通信省復帰	太平洋戦争勃発
1948	8月福岡無線電気工事局	
1950	11月検見川無線送受信所施設長	
1953	3月東京無線通信部短波保全課長	日本電信電話公社発足
1954	7月臨時極超短波部技術係長 （英STCマイクロ方式輸入担当）	
1958	3月四国電気通信局保全部長～施設部長	
1961	1月計画局調査役 9月資材局機材課長	政太郎先生早稲田大学 名誉教授
1963	土浦CCにてゴルフ初優勝	
1964	保全局保全課長	オリンピック東京大会開催
1965	1月マイクロ無線部調査役	
1966	中央電気通信学園技術研修部長 豪州・ニュージーランドへ出張	
1967	4月中央電気通信学園大学部技術部長	
1968	1月マイクロ無線部長	十勝沖地震
1970	1月インド出張（CCIR会議）	アポロ月面着陸
1971	ジュネーブ出張（CCIR会議）	黒川広二氏逝去
1973	中国電気通信局長	
1974	1月NTT退職・電気通信産業連盟理事	
1978	早稲田電気工学会副会長	
1979	11月4日電磁応用研究所理事	
1981	「インド赤い土」を出版 電磁応用研究所青山に移転	
1983	電磁応用研究所理事長に就任	政太郎先生逝去
1984	電気通信産業連盟退職	政太郎先生一周忌
1987	第1回電波技術協会賞	
1988	第29回電気通信協会賞	
1989	日本棋院五段	昭和天皇崩御
1990	勲四等旭日小綬賞受賞	NHKドラマ「凜々」協力

・富永英義氏専務理事就任

川原田理事長は7月4日付けにて、富永英義氏を専務理事に委嘱し同氏はこれを受諾した。

平成13年度第1回理事評議員会議

7月30日、青山のNHK青山荘に於いて富永専務理事が議長となり、平成13年度第1回理事評議員会議を開催した。

当日の直前に川原田理事長が逝去されたので、会議の冒頭、一同が黙禱を捧げ、当面の問題及び今後の運営について討議を行い、下記議案を承認した。

第1号議案 平成12年度事業成果報告書

第2号議案 平成12年度決算報告書

第3号議案 平成13年度事業経過中間報告

受領資料

1. ひたち	2001 NO.1	01-2-5	(株)日立製作所
2. NII News	2001 NO.4	01-5-29	国立情報学研究所
3. てら	2001 NO.7	01-5-7	NTT コムウエア(株)
	NO.8	01-7-15	同上

電磁応用 第59号
平成13年 8月10日

編集発行人 富永英義
発行所 (財)電磁応用研究所
〒107 東京都港区南青山5-1-10-808
TEL. (03) 3499-1888
FAX. (03) 3499-1989